

131001 基山(405m)

4.9km 2時間57分



- 水門跡登山口
- ↓ 0:07
- 東南門跡分岐
- ↓ 0:04
- 東南門跡
- ↓ 0:04
- 東南門跡分岐
- ↓ 0:12
- 米倉礎石群
- ↓ 0:09
- 鐘楼跡
- ↓ 0:03
- つつみ
- ↓ 0:07
- 土塁跡
- ↓ 0:16
- 東北門跡
- ↓ 0:17
- 北帝門跡
- ↓ 0:07
- 北峰(412m)
- ↓ 0:25
- 北帝門跡分岐
- ↓ 0:11
- 展望台
- ↓ 0:08
- 基山(405m)
- ↓ 0:04
- 東休息舎
- ↓ 0:24
- 東休息舎分岐
- ↓ 0:15
- 道路出合
- ↓ 0:04
- 水門跡登山口



水門近くの道路端に車を止め、右側の案内板を読んで水門跡登山口の階段を登り始める。



登山口右側の案内板。



急な木製階段の登りから始まるが長くはない。



木製階段が終わると傾斜も緩み尾根に上がる。やがて東南門跡分岐に出会い、右下へ続く木製階段を下る。



東南門があったとされる沢に降り立つが、ヤブが広がり現物を見ることが出来ない。引き返す。



米倉礎石群に到着。



木製階段を上る。左側へ下ると水門跡へ至る道路へ出る。



鐘楼跡。左の石柱は大正13年3月31日の建設とある。



つつみ跡を通過。直径15m前後、深さ1.2m程度の窪地で、その昔水を溜めていた所とされている。



左は雑木林、右はヒノキの植林の真ん中を歩く。



土塁跡。尾根沿いに4km以上に渡り構築されている。



東北門跡へ着く。門を出て下れば原田登山口へ至る。



左右の礎石には径20cm程の穴が穿ってある。礎石のスパンは180cm程度である。



東北門跡の傍から土塁へ取付く。所々に赤テープがあり踏み跡も強く迷うことはない。



北帝城跡の石碑。北側へ20mほど行くと北帝門跡。



北帝門跡。わずかに当時(665年)の石積みが残る。



幅15m程の斜面を上り詰めると北峰(412m)に着く。



カヤに周囲を覆われた北峰(412m)の山頂部であるが展望は得られない。



カヤの際に沿って歩く。着いた展望台から基山方面の眺め。



基肆城跡の石碑。



基山(405m)山頂と祠。後ろにある巨岩は「タマタマ石」と呼ばれる基山のご神体。



東休息所から見た天智天皇欽仰之碑。



遊歩道入口からの東休息所。



遊歩道入口。入口は刈り払ったカヤに隠されて見えない。ここに遊歩道があることは知られていない。



枯草を払い除けると木製階段が現れる。



右側にある粟島大明神に立ち寄る。最近詣でられた形跡がない。



東休息舎分岐に出会う。水門跡へは右折する。



道路出合。右から下って来て左の舗装道路を下って行く。



右側に南門跡関連の石積みが残る。



水門跡登山口に帰り着く。傍の水門を見に行く。今も昔と変わらずに流れている。